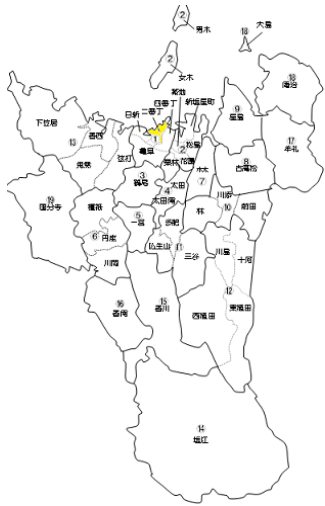


基礎データ（令和2年10月1日現在） 出典：2020年度国勢調査 人口・世帯関係データ

○地図



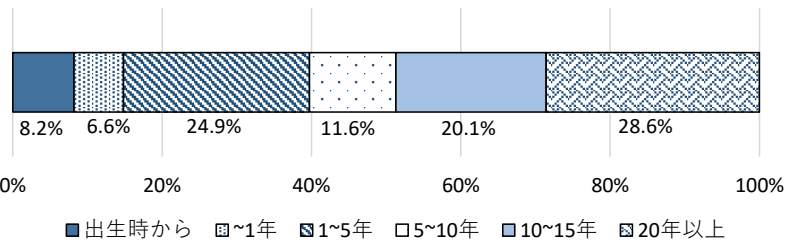
○人口データ

人口	11,066 人	(2.7%)	【 市 417,496 人 】
男性	5,420 人	(2.7%)	【 市 202,029 人 】
女性	5,646 人	(2.6%)	【 市 215,467 人 】
平均年齢	48.8 歳		【 市 47.5 歳 】
高齢化率	26.8 %		【 市 27.6 % 】
後期高齢化率	13.3 %		【 市 13.9 % 】
外国人数	91 人	(2.5%)	【 市 3,577 人 】

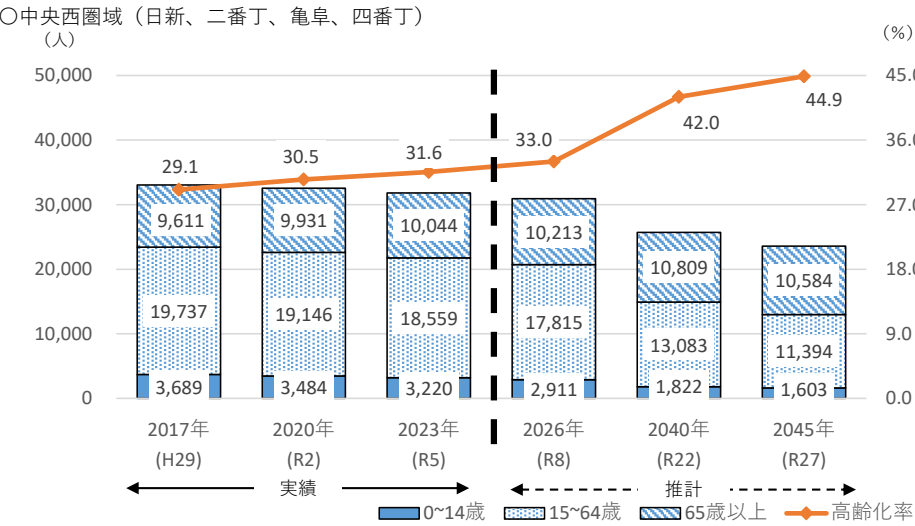
○世帯データ

総世帯数	5,920 世帯	(3.2%)	【 市 187,144 世帯 】
核家族世帯数	2,698 世帯	(2.6%)	【 市 103,254 世帯 】
(核家族世帯率)	45.6 %		【 市 55.2 % 】
18歳未満同居数	875 世帯	(2.3%)	【 市 37,246 世帯 】
(18歳未満同居率)	14.8 %		【 市 19.9 % 】
65歳以上世帯員を含む世帯数	1,997 世帯	(2.8%)	【 市 72,524 世帯 】
(65歳以上同居率)	33.7 %		【 市 38.8 % 】
高齢者のみの世帯数	1,374 世帯	(3.1%)	【 市 44,722 世帯 】
(高齢者のみの世帯率)	23.2 %		【 市 23.9 % 】
高齢者独居世帯	762 世帯	(3.4%)	【 市 22,457 世帯 】
(高齢者独居世帯率)	12.9 %		【 市 12.0 % 】
3世代同居	80 世帯	(1.4%)	【 市 5,850 世帯 】
(3世代同居率)	1.4 %		【 市 3.1 % 】

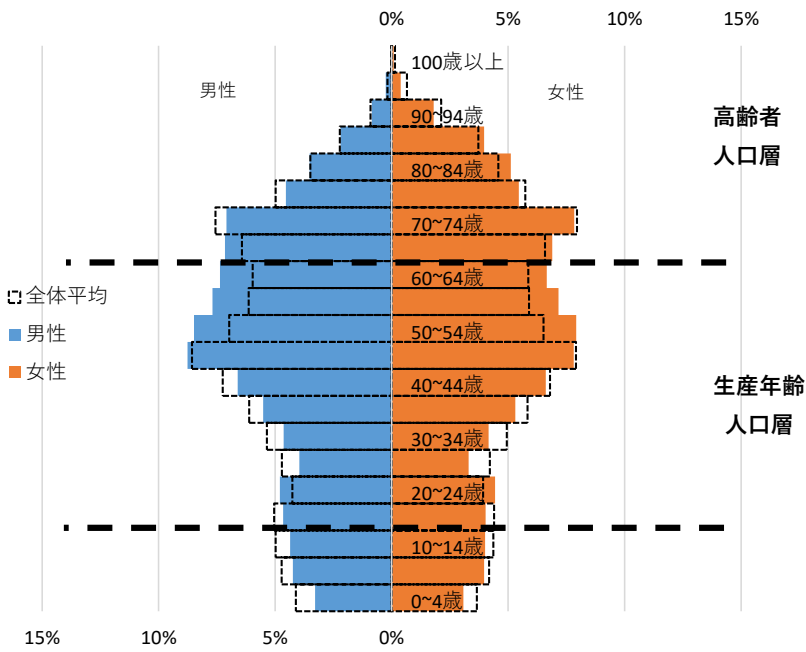
○居住年数別人口構成比



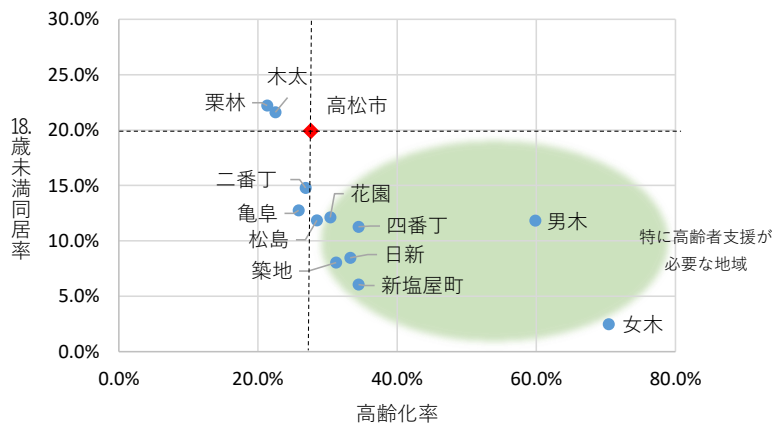
○人口推計グラフ（実績：住民基本台帳各年10月1日 推計：高齢者保健福祉計画）



○年齢層別人口分布割合ピラミッド



○18歳未満同居率/高齢化率散布図



○地域資源データ

医療機関（令和7年10月）

8	医療情報ネット（ナビイ）より
---	----------------

歯科医院（令和7年10月）

9	医療情報ネット（ナビイ）より
---	----------------

介護サービス（令和7年4月）

居宅介護支援事業所	2	訪問型サービス	2
通所型サービス	2	地域密着型サービス	2
施設系サービス	0	サービスB	1

買い物施設等（令和7年11月）

コンビニ	スーパー・商店	ドラッグストア	郵便局・金融機関
7	5	2	4

高齢者の居場所（令和7年10月）

4	二番丁コミュニティセンター、イトーピア高松自治会、高松友の家 二番丁グランドゴルフ
---	--

老人クラブの活動・コミセン活動・認知症カフェの活動等（令和7年5月）

コミセン活動：コミセン講座は、子どもから高齢者まで、同好会を中心に活動が盛ん。
インスタグラム、ホームページでコミセン活動の周知活動を行っている。
認知症カフェ：扇町ひだまりカフェ（まちの保健室・香川県看護協会）

老人介護支援センターの活動（令和7年6月）

特別養護老人ホームあかね：地域包括支援センターのランチとしての役割も兼ねており、高齢者に関する相談窓口の役割を果たす。また、年間3～4回、地域住民を対象に介護や福祉に関する講座等を開催し周知啓発活動を行っている。

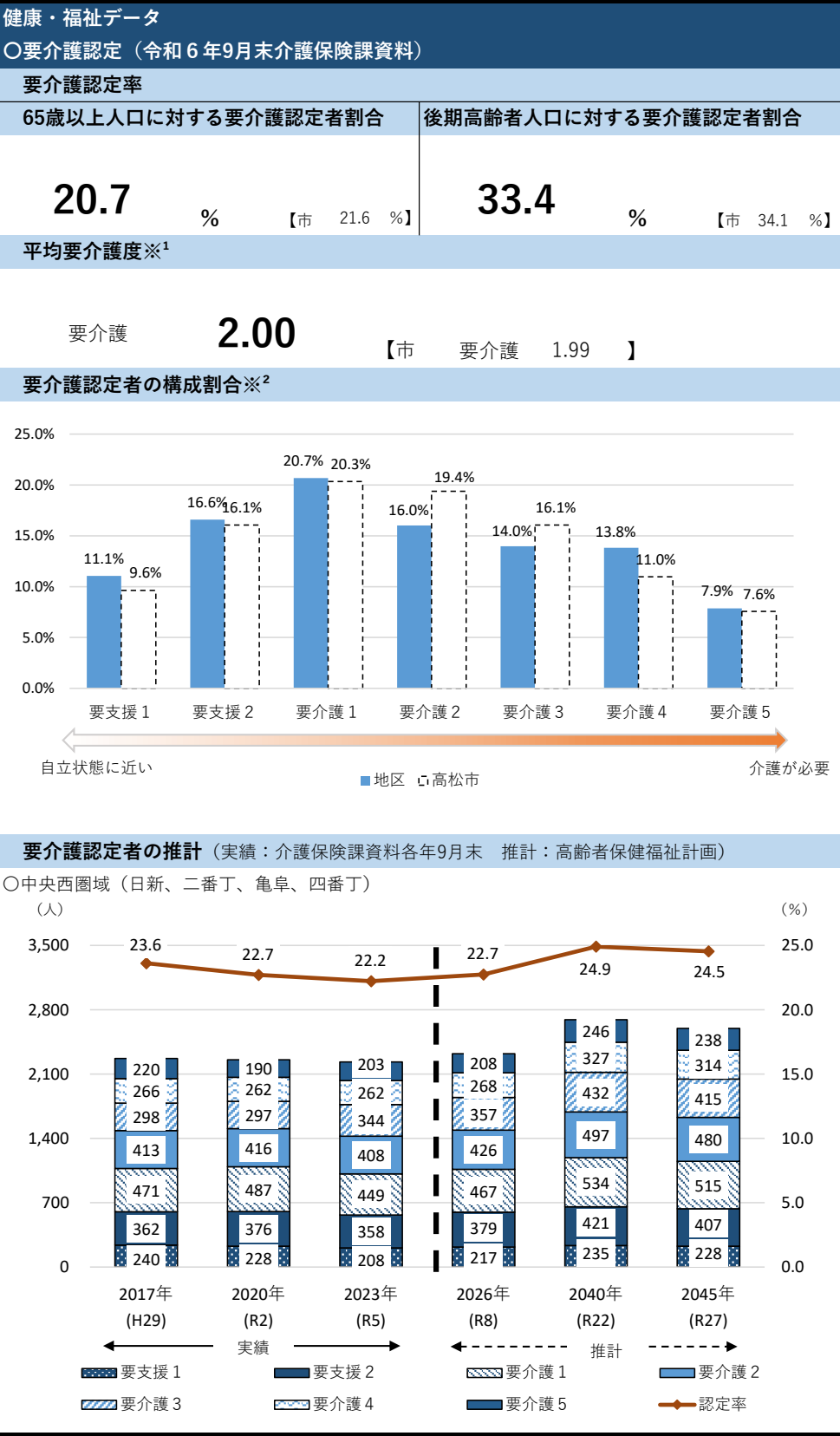
○地域特徴分析

地域特性

- ・ 保育所、幼稚園、小学校、香大、中央図書館などを擁する文教地区。
- ・ 駅の北側は、開発が進み、高層マンションや商業ビルが立ち並び、商店街までの賑わいのある地域で、通勤・通学の利便性が高く、若者、現役世代が多く暮らしているが、40～50年前に建ったマンションは、独居や高齢世帯が多くなっている。駅の南側は、神社・仏閣が多く立ち並び、昔の街並みが見られる。幹線道路から一本中に入ると狭い路地が多く、古い住宅や長屋もあり、緊急車両が入りにくいなどの課題がある。
- ・ 昔ながらの近所づきあいが残っている地域では、日常的な見守り活動が行われている所もあるが、マンションでは、構造上外部からの立ち入りができず、見守り活動が難しい現状もある。
- ・ 市全体と比較すると、高齢化率はやや低く、3世代同居率、核家族世帯率も低い。

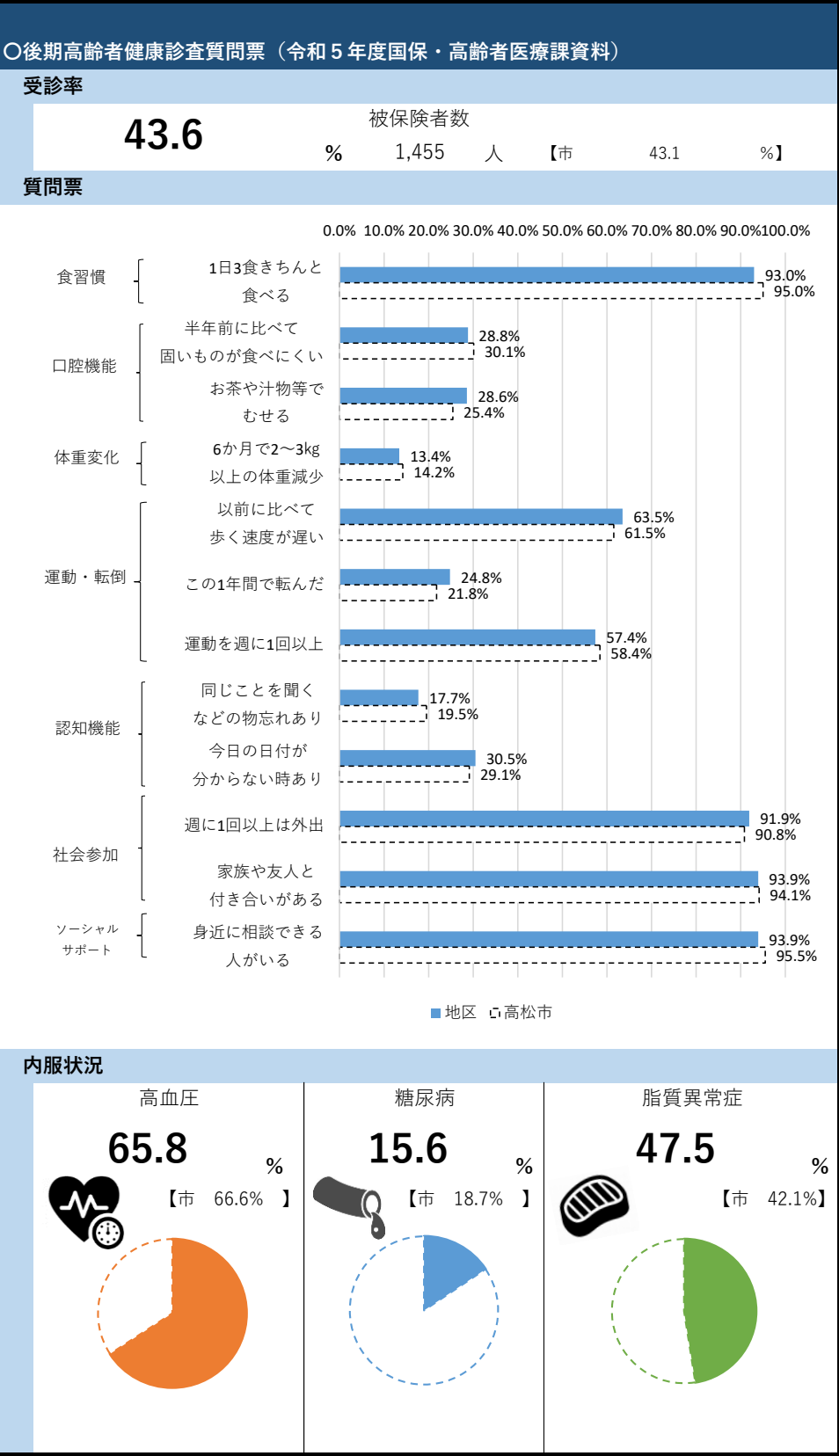
主な地区活動

- ・ 文化祭、環境まつり、敬老会、地域防災訓練、ふれあい給食会、こども祭り等実施
- ・ 地域福祉ネットワーク会議を2か月に1回程度開催。『認知症にやさしいまち二番丁』をスローガンに掲げ、自治会を中心に活動を進めている。また、住民主体による支援で、たすけ愛♡二番丁（ゴミ出し、買い物、コミュニティセンター講座での託児）活動を実施。



※¹ 平均要介護度の算出に当たり、要支援1・2は0.375として計算しています。

※² 地区ごとの要介護（要支援）認定者数については、高松市独自の集計を行っているため、全ての地区の合計が、介護保険事業状況報告月報と一致しない場合があります。



MEMO



高松市地域包括支援センター公認
認知症施策推進キャラクター
傾聴うさぎ ひだまる